時津伝兵衛、最終章。

AKT stage × space BEN

★☆北区AKT STAGE×スペースベン提携公演 ＃北区の熱海

熱海殺人事件

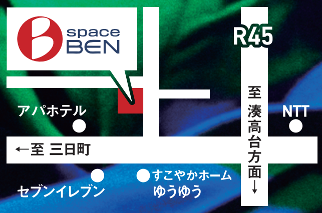
作 つかこうへい　**演出** 三浦佑介（あサルとピストル）

2021年12月23日㊍ - 26日㊐　スペースベン

12/	23 木	24 金	25 土	26 日
13:00			★	
14:00				★
18:00			★	
19:00	★	★		

※開場は開演の30分前。※未就学児入場不可。

協賛 南部電機株式会社



〒031-0081 青森県八戸市柏崎1-11-8
TEL　0178-43-9876
HP　https://www.spaceben.com/
※駐車場はありません。近くのアパホテル
隣に西町駐車場（有料）があります。

チケット好評発売中

全席自由・税込

一般 2,500円
学割 1,000円

※学割チケットは当日受付のみ販売。
要学生証提示。

チケット
購入・予約
teket.jp/
1122/8269

企画・制作：特定非営利活動法人 北区AKT STAGE　協力：つかこうへい事務所／あサルとピストル／田中稔

※お問合せ・直接購入は 080-6025-0990 田中までお電話ください。出られない時は折り返しお電話します。

★☆北区AKT STAGE×スペースベン提携公演 #北区の熱海

熱海殺人事件

作 つかこうへい
演出 三浦佑介（あサルとピストル）

七〇年代初頭に颯爽と時代に現れた、つかこうへいの代表作。
一九七三年に文学座で初演、翌一九七四年には岸田國士戯曲賞を当時最年少で受賞。その後、小説をはじめとして幾つものバージョンの戯曲が書かれる。

泣く子も黙る警視庁の名物刑事・木村伝兵衛部長刑事のもとに、富山県警から若い刑事・熊田留吉が赴任してくる。婦人警官の水野朋子を加えた三人が捜査するのは、熱海の海岸で幼馴染の山口アイ子を腰ヒモで絞め殺した大山金太郎の事件だ。
熱海で工員の男が同郷の女を殺したという単純な事件を、刑事たちがそれぞれの美学を犯人に押し付け、世間が注目するような大事件に仕立て上げようと動機を捏造していく。いかにして三流殺人犯の大山金太郎を一流の殺人犯に仕立て上げるのか。
人間の尊厳を賭け、露悪的な笑いの中で権力がいかに犯罪を仕立てあげるかを描く。

つかこうへいが人生を捧げた不朽の名作。演出を変え、三年連続で同じキャストで臨む集大成の『熱海殺人事件』。二年前、八戸で上演したキャストそのままでやって来る。

時津真人

小山蓮司

井上怜愛

尾崎大陸

つかこうへい（1948-2010）

撮影 土屋勝義

劇作家·演出家。慶応義塾大学文学部哲学科中退。大学在学中からアングラ劇第二世代の劇作家·演出家として活動を始め、"つかこうへい以前（第一世代）"、"つかこうへい以後（第三世代）"と呼ばれる程の一時代を築き、1970年代から1980年代にかけて一大 "つかブーム"を巻き起こした。没後10年以上経っても今尚、演劇界のカリスマ的存在。

1974年 「第18回岸田國士戯曲賞」を当時最年少の25歳で受賞。（戯曲『熱海殺人事件』）
1982年 「第86回直木賞」を戦後生まれ初（当時33歳）で受賞。（小説『蒲田行進曲』）
1983年 「第6回日本アカデミー賞（最優秀脚本賞）」受賞。（映画『蒲田行進曲』※全7部門で最優秀賞受賞）
1990年 「第42回読売文学賞」受賞。（戯曲『飛龍伝'90 殺戮の秋』）
2007年 「紫綬褒章」受章。
2010年 「旭日小綬章」受賞。（追贈）
他、受賞多数。

1990年『娘に語る祖国』（光文社）で在日韓国人二世であることを公表し、ベストセラーとなる。現在も芸能界の第一線で活躍する数多くの人気俳優を輩出し、小説は多数映画化され大ヒットを連発。2010年他界（62歳）。

★☆北区AKT STAGE

「★☆北区つかこうへい劇団※」を前身団体とし、2012年に劇団名を新たに再スタート。劇団員総勢31名。つか作品を中心に、東京都北区の北とぴあをホームシアターとして定期的に公演を行っている。また、演劇とダンスを通じて子供たちの運動能力と表現力を培うという主旨の元1998年に開設された児童教室も引き継ぎ、創作活動を通じて子供たちにも演劇の楽しさを広め好評を得ている。

※★☆北区つかこうへい劇団…1980年代のバブル全盛期、全国には立派な劇場（ハード）ばかりが建てられ、稽古場という地味な部分（ソフト）に出資する企業は皆無だった。そのため役者を育てる場が無いというつかこうへいの嘆きに、東京都北区がJR田端駅前のホールを稽古場として年間無料提供することを発表。1994年4月、日本初の行政のバックアップの元で劇団養成所が開校し、大きな話題となった。正式劇団員として、高田万由子、石原良純、小西真奈美、内田有紀、黒谷友香、黒木メイサ、成河（ソンハ）などが在籍した。脚本家の秦 建日子（『アンフェア』他）は演出コース第1期生。